

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇1年学年会	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科の生徒は、自分の成績と通学の便利さを重視して入学している割合が高く、自分の夢や目標、なりたい職業が定まっていない割合も高い。 ・生活デザイン科の生徒は、自分の目標を重視して入学している生徒と自分の成績を重視して入学している生徒の割合が同じぐらいで、自分の夢や目標、なりたい職業が定まっている割合が高い。 ・本校の取り組みに対して、ほとんどの項目で昨年度同様の評価であるが、保護者の評価は肯定的な割合が減少している（全体）。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇望ましい生活習慣を確立し、相手を思いやり、進んで奉仕する心を育て、地域社会に貢献できる知識と態度を身につける。 ◇家庭との連携を密にし、欠席や遅刻の防止を図る。 ◇課題に積極的に取り組み、自己の進路目標を具体化する。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会 ・生徒指導を始めとする各分掌との連携 ・総合学科長、生活デザイン科長との連携 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 出席状況の把握と保護者との連携 (2) 学年集会の実施 (3) 身だしなみ指導の実施	(1) 欠席・遅刻状況 (2) 生徒の意識、行動 (3) 進路目標を意識した系列・コース選択	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・安易な欠席や遅刻について、その都度指導を行うよう努めた。 ・欠席や遅刻を繰り返す生徒の状況確認を懇談・家庭訪問等で丁寧に行った。 ・学年集会を実施したり、学校行事を通じて生徒の目標達成への意欲をかきたてた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活習慣の確立に向けて継続的な指導ができたか。 ②生徒の情報を共有し、家庭との連携を密にできたか。 ③進路目標を設定するための、組織的な対応ができたか。 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A B (C) D</p>
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導部や教育相談係から生徒情報を収集し、学年別会議や職員会議において情報を共有するとともに、保護者との連携を密にし、生徒理解に努めることができた。 ○入学してすぐに、基本的な生活習慣を確立する指導を行った結果、遅刻等が減り身だしなみ等の規律を守らせることができた。 ▲新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、進路関係の行事がほとんど中止となり、進路目標を考えるきっかけをつくることができなかった。 	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様、家庭や生徒指導部との連携を密にし、情報を共有して生徒理解に努めていく。 ・望ましい生活習慣の確立を目指し引き続き学年集会の実施や学校行事での関わりを重視していく ・コロナ禍においても、生徒が進路目標を設定し、実現していくための取り組みを工夫して行う。 		

II 学校関係者評価

令和4年2月14日

【意見・要望・評価等】 ・特になし
